

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
FMD News Vol.49をお届けいたします。

facebook



FMD
OWNER'S CLUB



11月のTOPICS

■ 無症候性糖尿病患者の心血管病発症と血管内皮機能について

11月14日は世界糖尿病デーです。世界糖尿病デーは、世界に広がる糖尿病の脅威に対応するために1991年IDF(国際糖尿病連合)とWHO(世界保健機関)によって制定されました。
今月は無症候性2型糖尿病患者の心血管病発症と血管内皮機能についての研究報告をご紹介します。

重大な全身性疾患がなく、病歴、診察、心電図、心エコー検査および頸動脈エコーに基づく心疾患の診断がなく、インスリン療法を受けていない2型糖尿病患者53名に対し、基礎評価後約4年間の追跡調査を行った。エンドポイントは、心血管死、急性虚血性冠動脈イベント、冠動脈血行再建術、急性脳血管障害のいずれかを含む主要な心血管イベント(MACE)の発生とした。

追跡調査にて同意した48名の患者(79%)に対して、FMDとNMDの再評価を行った。

平均23±12か月のフォローアップ後に10件のMACE(16.4%)が発生し、3名が心筋梗塞(2名はその後冠動脈バイパス移植[CABG]手術、1名は経皮的冠動脈インターベンション[PCI]を受けた)、5名が運動負荷検査による誘発狭心症または心筋虚血により冠血行再建(CABG手術が4名、PCIが1名)、2名が急性虚血性脳卒中(急性後遺症なし)を発症した。

MACE発生群と非発生群間において、年齢、性別、肥満度指数、主要な心血管リスク因子、腎機能(クレアチニンレベルとGFRによって評価)、および薬物療法に有意差は認められなかった。HbA1cも基礎評価と再評価にて同等であった。しかし基礎評価FMDは、 3.78 ± 0.97 対 4.70 ± 1.34 %とMACE発生群は非発生群と比較し有意に低く($p = 0.04$)、年齢、性別、心血管リスク因子、糖尿病期間、HbA1c、薬物療法、および上腕動脈径の調整後であっても有意差が認められた($p < 0.05$)が、NMDは有意差が認められなかった。

フォローアップ時の再評価でもMACE発生群のFMDは、非発生群と比較し有意な低下が認められた($p = 0.006$)が、NMDは2群間において有意差は認められなかった。

また、それぞれの群において、FMD、NMDともに基礎評価値と再評価値の間で有意差は認められなかった。以上の結果は、FMDの基礎評価がMACE発症の高リスク患者を特定するのに役立つ可能性があることを示唆している。

出典：Diabetes Metab Res Rev. 2019 Sep 11:e3215.

こちらの研究では糖尿病患者はFMDが低いと心血管イベント発生リスクが上がるとされていますが、糖尿病患者でも薬剤の追加投与*1や通常治療に運動療法を追加することによってFMDが改善し、運動療法非追加群と比較して予後が良い*2という報告もありますので、FMDが低下している患者に対して適切な治療でFMDを改善させることが重要ではないかと考えます。

*1 Cardiovasc Diabetol. 2017 Jul 6;16(1):84

*2 J Atheroscler Thromb;2010;17:828-833

■ 11月、12月の学会展示のご案内

第26回日本未病システム学会学術総会

会 期：2019年11月16日(土)～17日(日)
会 場：今池ガスビル(愛知県名古屋市)

第17回日本機能性食品医用学会総会

会 期：2019年12月7日(土)～8日(日)
会 場：国際医療福祉大学 赤坂キャンパス